

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称 AIVILプレミアムアイラッシュグラー
供給者の会社名 株式会社トリコインダストリーズ
住所 〒556-0022 大阪府大阪市浪速区桜川2-9-4
電話番号 06-6568-0731
推奨用途及び使用上の制限 人口毛用途の瞬間接着剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物理化学的危険性 引火性液体 区分4
健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の1.1項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

GHSラベル要素

絵表示 (ピクトグラム)



注意喚起語
危険有害性情報

警告
可燃性液体
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き
安全対策

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。- 禁煙。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取扱後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

データなし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

組成

組成物質	CAS NO.	%wt
エチルシアノアクリレート	7085-85-0	81%

メタクリル酸アルキル	9011-14-7	7%
ポリイソシアネート	9016-87-9	7%
ピグメント		3%
水	7732-18-5	1%
N-メチルピロリドン	872-50-4	0.5%
カーボンブラック	1333-86-4	0.5%

4. 応急措置

吸入した場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	大量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で15～20分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	データなし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
火災時の特有の危険有害性	熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 激しく加熱すると燃焼する。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移動させない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	危険でなければ漏れを止める。 すべての着火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
	安全取扱い注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 炎や高温のものから遠ざけること。- 禁煙。 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。
	接触回避 衛生対策	データなし 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管	安全な保管条件	容器を密閉して冷乾所にて保存すること。 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。 炎や高温のものから離して保管すること。－ 禁煙。
	安全な容器包装材料	データなし
8. ばく露防止及び保護措置		
管理濃度 許容濃度	日本産衛学会 ACGIH	未設定 未設定 TLV-TWA: 0.2 ppm (1 mg/m ³)(シアノアクリル酸エチル) この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
設備対策		
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。 適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理的状態	物理状態	液体 (20℃、1気圧) (GHS判定)
	色	黒
	臭い	なし
融点・凝固点		-20～25℃ (HSDB(2015))
沸点、初留点及び沸騰範囲		>190℃
引火点		95℃
蒸発速度(酢酸ブチル = 1)		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲		1.7 %vol.～ (空気中) (ACGIH (7th,2001))
蒸気圧		<1Pa (25℃)
比重(相対密度)		1.040 (20℃) (Merck (15th, 2013))
溶解度		水 : 3,210mg/L (25℃) (推定値) (SRC(2015))
n-オクタノール／水分配係数		log P = 1.42 (推定値) (SRC (2015))
自然発火温度		485℃ (有機化合物辞典 (2004))
分解温度		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		引火性の低い液体。わずかに揮発する。
化学的安定性		安定 引火点近傍での加熱時、蒸気と空気の混合物は爆発性を有する。 水との接触で急速に重合する。この反応は発熱を伴う。
危険有害反応可能性		湿気存在で重合が開始される。 アルコール、アミン類、塩基、水又は湿気との接触で重合する。 ホルムアルデヒドで分解する。
避けるべき条件		高温、高湿、直射日光
混触危険物質		データなし
危険有害な分解生成物		加熱による分解で非常に有毒なシアン化水素のヒューム及び窒素酸化物を生じる。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	GHS分類: 区分外 ラットへの5,000 mg/kg投与で、1/6例の死亡との報告 (CICAD 36 (2001)) からLD50値が > 5,000 mg/kgと推定されることが及びラットのLD50値として、5,000 mg/kgとの報告 (HSDB (Access on August 2015)) とに基づき、区分外とした。

		GHS分類: 区分外 ウサギへの2,000 mg/kgの投与で死亡例なしとの報告 (CICAD 36 (2001)) に基づき、区分外とした。なお、ウサギのLD50値として、2,000 mg/kg (HSDB (Access on August 2015)) との報告があり、区分4に該当するが、分類ガイダンスに従い、優先度の高い情報源 (CICAD 36 (2001)) のデータを採用した。
	経皮	
	吸入: ガス	GHS分類: 分類対象外 GHSの定義における液体である。
	吸入: 蒸気	GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
	吸入: 粉じん及びミスト	GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。ラットのLC50値 (1時間) として、<
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		GHS分類: 区分外 ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、本物質の液体を24時間適用し
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		GHS分類: 区分2 ウサギを用いた眼刺激性試験において、本物質を適用した結果、刺激性の
呼吸器感受性		GHS分類: 分類できない 本物質を取り扱う職業ばく露において、喘息症状が報告されているが
皮膚感受性		GHS分類: 分類できない 本物質を取り扱う職業ばく露において皮膚反応を示した労働者に対するパツ
生殖細胞変異原性		GHS分類: 分類できないガイダンスの改訂により区分外が選択できなくなった
発がん性		GHS分類: 分類できない 国際機関による分類結果もなく、データ不足のため分類できない。
生殖毒性		GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		GHS分類: 区分3 (気道刺激性) 本物質は気道刺激性がある (ACGIH (7th, 2001)、CICAD 36
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性		GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
1 2. 環境影響情報		
生態毒性	水生環境有害性 (短期/急性)	GHS分類: 分類できない データがなく分類できない。
	水生環境有害性 (長期/慢性)	GHS分類: 分類できない データがなく分類できない。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていないため。
1 3. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装		容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
1 4. 輸送上の注意		
国際規制	国連番号	-
	品名 (国連輸送名)	-
	国連分類 (輸送における危険有害性)	-
	副次危険	-
	容器等級	-
	海洋汚染物質	該当しない
	MARPOL73/78附属書 II 及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない
国内規制	海上規制情報	船舶安全法に従う。
	航空規制情報	航空法に従う。
	陸上規制情報	消防法、道路法に従う。

<p>特別な安全上の対策</p> <p>緊急時応急措置指針番号</p>	<p>移送時にイエローカードの保持が必要。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。</p> <p>-</p>
<p>1 5. 適用法令</p>	
<p>労働安全衛生法</p> <p>下水道法</p> <p>毒物及び劇物取締法</p> <p>消防法</p> <p>水質汚濁防止法</p> <p>外国為替及び外国貿易管理法</p> <p>特定廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)</p> <p>土壌汚染対策法</p>	<p>名称等を表示すべき危険有害物（法第57条、施行令第18条別表第9） 名称等を通知すべき危険有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9） リスクアセスメントを実施すべき危険有害物（法第57条の3） 水質基準物質 劇物・除外品目 第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体 有害物質 輸出貨易管理令別表第2 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの 特定有害物質</p>
<p>1 6. その他の情報</p>	
<p>参考文献</p>	<p>NITE GHS 分類結果 GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報 GHS分類ガイダンス 中央労働災害防止協会WEBサイト</p>